



LIXIL
Link to Good Living

株式会社 LIXILグループ
株 主 通 信

2015年3月期ご報告
2014年4月1日～2015年3月31日

証券コード 5938

グループ経営理念 LIXIL TETRA

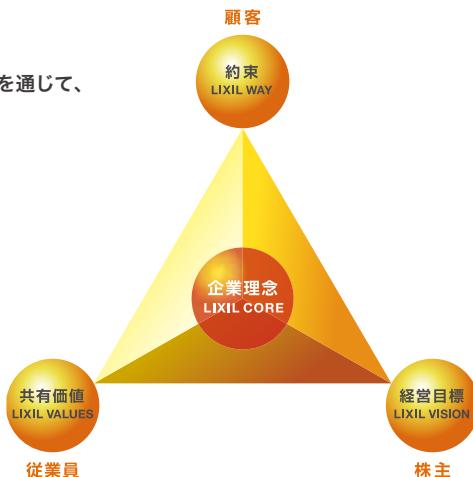
LIXIL CORE (企業理念)

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献します。

LIXIL VALUES (共有価値)

One LIXIL for Good Living ...
一つにつながるValues

Work with Respect
Deliver on Commitment
Embrace Quality
Inspire Passion
Pursue Growth



LIXIL WAY (私たちの約束)

1. LIXILのありたい姿
地球と調和する「暮らしの理性」を創造する。
Link to the Earth
2. LIXILの使命
お客さまの、良い暮らしにつながる「絆」を作る。
Link to Good Living
3. LIXILの提供価値
確かな品質 *高い技術*
Link to Quality *Link to Technology*
美しい環境 *豊かな感動*
Link to Environment *Link to Emotion*

LIXIL VISION (経営目標)

住生活産業における
グローバルリーダーとなる。



Link to Good Living

取締役会議長

潮田洋一郎



社長の藤森が就任して以来、ガバナンスと経営とが取り組んだことを要約するならば、まず第一に国内諸事業を統合して一つのLIXILを作る。そしてそれを強固な会社とすること。第二に、その強い国内事業を基礎として、国際化を一気に進めるといった意志の遂行でした。

残念ながら、自然災害や消費税率引上げ仮需の反動もあって、国内の業績にはまだ課題がございます。しかし、国際化では大きな進展がありました。カーテンウォール世界最大手である、イタリアのベルマスティリーザ。世界で最も広く認知された衛生陶器ブランドを持つ、アメリカン・スタンダード・プランズ。高収益でハイエンドの水栓金具で知られるドイツのグローエ。サブ・サハラの水まわりで圧倒的な強さを誇る、南アフリカのドーン。このような多国籍企業を次々にグループに加えて、一気に世界150カ国以上に商圏を広げました。

同時にリスクもまた急速に増大したことになります。今回、グローエの子会社であるジョウユウグループの中国子会社で不祥事が発生しました。これを何故早期に発見して食い止められなかったのか、詳しく検証して再発防止につとめます。

国境を越えることのできない商品やサービスは、一流ではありません。グローバルに通用することこそ一

流の証しです。異なる国籍やバックグラウンドの人々が集まる職場で、お互いに理解し合って仕事をするのは簡単ではありません。しかし、同質の組織にはない柔軟性や豊かな発想力というプラス面を活かそうという前向きな姿勢が目立ってきて、社内の空気は大きく変化しました。歴史の大きな曲がり角にあって、変わらないことこそが最大のリスクです。細心の注意をはらいながらも失敗を怖れず、多くのことを学びながら、成長に挑んで参ります。

この意欲的なビジョンにこたえられる、有能な経営者を選任するのが、取締役会を通じたガバナンスの役割です。選ばれたCEOは、果敢にリスクをとって、迅速に意思決定する。長期的な視点で、その執行状況や結果を取締役会は見守って参りました。

そのために、大局を見失わない論議ができることを心がけて取締役を選任し、会議を運営しています。経験に富み、豊かな歴史観や人生観を基礎に、バランスのとれたものの見方をできる方々に、取締役をお願いしてきました。今年は新たにレディー・バーバラ・ジャッジを取締役に迎え、成長を見込む海外展開の促進と、リスクの回避にその見解を活かして参ります。

株主の皆さまには、倍旧のご支援をお願い申し上げます。

One LIXILの実現で 誇れるグローバル企業 を目指します

取締役 代表執行役社長 兼 CEO

藤森 義明



はじめに

ジョウユウ問題についてご報告

まず、はじめに2015年3月期の決算の確定及び株主総会の開催が例年に比べて遅れ、株主の皆さまにご心配をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。その遅れた理由であるジョウユウ問題についてご報告させていただきますと存じます。

Joyou AG(ジョウユウ:本社ドイツ、フランクフルト証券取引所上場、主に中国での水栓金具・衛生陶器の

製造販売)は2014年1月に水栓金具の世界的な高級ブランドのGROHE(グローエ)へ出資した際にその子会社として当社の持分法適用関連会社となりました。その後2015年4月にグローエに追加出資を行い、連結子会社となりました。その直後に、ある金融機関から私とグローエのCEO宛に、「ジョウユウの中国子会社の一部の負債が債務不履行に陥った」という書簡が届き、これを受けて4月27日にはジョウユウの監査役会が会計専門家および法律顧問による特別監

査を開始し、この調査過程においてジョウユウは債務超過状態であることが判明したため、5月22日に、ドイツ・ハンブルク地方裁判所に対して、破産手続開始を申し立てました。

当社においても、私の指示により、4月24日に特別調査チームを結成し、多岐にわたる調査を行ってきました。この初期調査の段階で、ジョウユウグループの創業者によるものと思われる帳簿外の巨額な債務が見つかり、公表されている財務報告を大きく超える差異があり、大幅な債務超

過に陥っていることがわかりました。その債務の総額、目的・資金の用途は過去データの意図的な破棄・消去等により、現時点では全容解明には至っていませんが、ジョウユウの今回の破綻の主要原因であると考えられます。また、売上の過剰報告、販売費用の過少申告等の不正も行われていました。

このような状況でありましたが、ジョウユウの破産手続開始に伴い、同社は当社連結子会社から外れることとなり、当社への業績の影響も限定され、決算が確定いたしました。その影響は次のとおりです。

2014年3月期は決算を訂正し、当初株式取得時におけるジョウユウ分の株式価値毀損238億円を計上、2015年3月期には、第3四半期までに計上したジョウユウの利益に対する持分法投資利益取消3億円、調査費用12億円、今年4月の追加株式取得における株式価値毀損79億円の合計94億円の損失を計上しました。さらに、当社はジョウユウの子会社の債務保証を行っており、2016

年3月期には最大で約330億円の特別損失を計上する可能性があります。

このような巨額の企業価値損失を招いたことの根本的理由を突き止め再発防止策の策定・実施を行い、判明した事実に基づき法的措置を取っていくために私を委員長とした社内調査委員会を6月3日付で設置しました。

さらに世界レベルでグループ全体を対象とする全社ビジネス監査組織（コーポレート・オーディットスタッフ）を構築し、また、社内でも内部統制に必要な人員配置を行っていきます。

これらに加え、当社取締役会は、社外取締役及び当社と利害関係のない外部有識者による特別調査委員会を6月8日付で設置しました。今後、調査結果概要は、特別調査委員会による調査結果が明らかになった段階で速やかに公表します。

今後、この社内調査委員会と特別調査委員会からの提言をふまえて、以下のような観点で抜本的な再発防止策を早急に検討することとし、財務

報告に係る内部統制の重要な不備の是正に着手していきます。

1. **グローバルな
コンプライアンス意識の徹底**
2. **リスク特性に適合した
内部統制の再構築**
3. **内部監査および
モニタリング体制の強化**
4. **当社から海外子会社等への
管理体制の強化**
5. **海外子会社等の
人員の教育充実**

2015年3月期の業績と 2016年3月期の業績予想

2015年3月期は、昨年4月にグローバル・マネージメント・コミティ(GMC)を発足させてグローバルマネジメント体制に移行しました。国内ではリフォーム事業の拡大に注力し、さらに全社では経営効率の改善に取り組んで来ました。

売上高は、国内では消費税率引上による新築・リフォーム市場縮小の影響で前年比-4%の1兆2,899億円と

社長メッセージ

2015年3月期 連結業績・2016年3月期 業績予想（日本の会計基準）

（単位：億円）

	2014年3月期 実績 (訂正後)	2015年3月期				2016年3月期	
		予想*	実績	前期比	予想比	予想	前期比
売上高	16,287	16,750	16,734	2.7%	△0.1%	18,700	11.7%
営業利益	691	600	517	△25.2%	△13.9%	520	0.6%
当期純利益	210	310	220	5.1%	△29.0%	30	△86.4%

*2015年2月2日レンジで公表した業績予想のうち、その上限の数値

なりました。ただしリフォーム売上高は前年比-1%で、リフォーム市場が推定18%縮小したことに対して健闘したと考えています。海外売上高は、前年9月から新規連結となったASB（アメリカン・スタンダード・プランズ）の寄与やアジア地域での売上増により前年比+30%の4,281億円となりました。併せて連結売上高は1兆6,734億円（前年比+3%）となりました。

営業利益については、国内では売上減や昨年2月の大雪の影響、円安による輸入資材価格への影響などから、国内営業利益は17%減少の741

億円となりました。海外営業利益は、アジアやASBの増益により、110億円（のれん・無形固定資産償却前）、前年比+35%となりました。調整額を除いた連結営業利益は517億円（前年比-25%）となりました。

特別損益ではジョウユウについて関連会社投資関連損失を計上した一方、投資有価証券の売却を進めたこともあり、当期純利益は220億円（訂正後の前年比+5%）となりました。

2016年3月期の見通しは、上記の表に掲載の通り、売上高についてはグローバルの新規連結や海外事業の成長

により12%増、営業利益については営業費用の増加を見込み微増、当期純利益は保守的に前述のジョウユウの保証債務損失を約330億円織り込んだため、30億円を見込んでいます。

2015年度からの新体制

当社は今年4月より、P6下図のとおり、「4テクノロジー」を中心とした体制に移行しました（4テクノロジーの詳細はP7-8ご参照）。それぞれのテクノロジーが各地域におけるNo.1ブランドからなる、水回り・住宅・ビル・キッ

チン領域で世界をリードするメーカーであり、優れた技術とデザイン、品質を結ぶ業界の先駆者です。テクノロジーごとに国の壁を取り払い、グローバルでの事業シナジーの最大化を目指していきます。

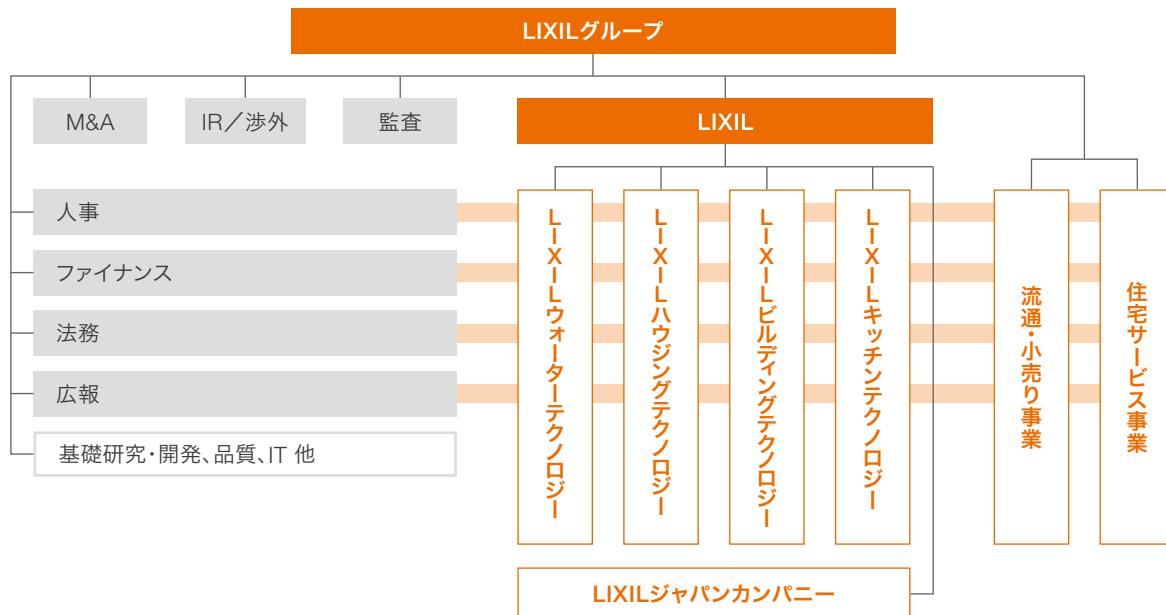
さらに今年4月には“One LIXIL”と

して全世界の社員が共有する「LIXILグループ行動指針」を制定し、13言語を揃えました。これを早期に徹底させていきます。

ジョウユウの件では多くの株主様にご心配、ご迷惑をおかけし、企業価値を損なうこととなり、深くお詫び申

し上げます。しかしながら、当社グループの財務基盤は強固であり、当社のグローバル戦略の方向性には何ら変更はありません。株主の皆さまには、当社の大きな変化の過程を温かく見守って下さるよう、今後とも宜しくお願い申し上げます。

新LIXILグループ体制 (2015年4月1日開始)



LIXILウォーターテクノロジー

LIXIL Water Technology



衛生陶器

国内 No.2

ユニットバス

国内 No.1

水栓金具

グローバル No.1

衛生陶器

北米 No.1

LIXILハウジングテクノロジー

LIXIL Housing Technology



住宅用サッシ・ドア

国内 No.1

エクステリア

国内 No.1

玄関ドア

国内 No.1

LIXILグループの新事業モデル始動!

グループシナジーの最大化でグローバル化を加速

4月1日からLIXILによる、イノベーション、品質、デザイン、技術、サステナビリティを重視した、LIXILウォーターテクノロジー、LIXILハウジングテクノロジー、LIXILビルディングテクノロジー、LIXILキッチンテクノロジーの4つのテクノロジー事業と、日本での販売・サービスを担うLIXILジャパンカンパニーからなる新事業モデルをスタートしました。今回の新事業モデルへの移行は、LIXILが2011年から進めている「真のグローバルカンパニーになる」ための変革の最終フェーズとなります。

LIXILビルディングテクノロジー

LIXIL Building Technology

Ph.: Courtesy of SOCAR



カーテンウォール

グローバル No.1

LIXILキッチンテクノロジー

LIXIL Kitchen Technology



キッチン

国内 No.1

ワンランク上の
ラグジュアリーな
空間を提供



GROHE 南青山ショールームをオープン

日本の入浴文化を世界に発信する高級浴槽ブランド、JAXSON(ジャクソン)と水栓金具商品をはじめとしたドイツの高級水回りブランド、GROHE(グローエ)とがコラボレーションを行い、1階をJAXSON、2階をGROHEとしたショールームが南青山にオープンしました。両ブランドによる上質で魅力的な水回り空間の提案をしていきます。



新商品のご紹介



LIXIL独自の技術と品質で
お客さまの毎日を豊かにします。

Remore
System Bathroom for Reform

商品

戸建住宅リフォーム用 システムバスルーム「リモア」

「Remore(リモア)」は、お風呂をひとつの空間としてとらえ、“より快適でくつろげる空間”にするというリフォーム特有のお施主さまの価値観を考え、施工会社さまのリフォーム工事の課題を解決することをコンセプトに誕生した戸建住宅リフォーム専用のシステムバスルームです。様々なデザインやカラーを選べるだけでなく、最新の優れた清掃機能や浴槽、浴室全体を暖かく快適にする最新機能が標準で搭載されています。

 <http://www.lixil.co.jp/lineup/bathroom/remore>

キレイ浴槽



パールのように
輝く浴槽に
“キレイテクノロジー”
をプラス!

パールのような輝きがある美しさと、汚れにくさを両立する
「キレイ浴槽」

技術

木造住宅向けカンタン耐震 リフォーム工法「アラテクト」

カンタン耐震リフォーム工法「アラテクト」は、“既存壁を活かした耐震改修”を可能とする業界初^{*}の耐震改修工法です。国土強靱化施策として2020年までに住宅の耐震化率95%達成の目標が掲げられていますが、これまでの耐震改修では、壁や天井の解体をともなう大掛かりな工事が必要となるため、なかなか進んでいないのが現状です。そこで今回、橋脚の補強や防弾服などにも使用される高強度繊維「アラミド繊維」を厚さ1mm以下のシート状に加工した「アラテクトシート」を、室内壁の上から専用の座金・ビスで固定するだけの簡単施工を開発。これによりホコリや騒音を気にせずに、住まいながらの耐震改修が可能となり、短工期・低コストを実現しました。

※繊維シートを用いた室内側から壁を壊さない耐震改修工法として(当社調べ)

 http://newsrelease.lixil.co.jp/news/2015/065_method_0407_01.html



商品

システムキッチン 「サンヴァリエ〈リシェルSI〉」

「サンヴァリエ〈リシェルSI〉」は、本物志向に響く意匠性と機能性を兼ね備えたシステムキッチンです。LIXIL独自の技術により量産化を実現した「セラミックトップ」は、釉薬の風合いを活かした焼きものならではの繊細で味わい深い表情で、インテリア空間を引き立てます。セラミックは、熱による変色をはじめ、傷や汚れ、衝撃にも強いため、美しさを保ったまま長く快適にご使用いただけます。また、2種類のセンシング方式の採用により感知精度を向上させた「ハンズフリー水栓」は、吐水・止水を制御し、スムーズで効率的な作業を実現します。

 <http://www.lixil.co.jp/lineup/kitchen/ricelle/>



セラミックトップ



ハンズフリー水栓

日本から世界の トップを目指す!

TOPIC

01

錦織圭選手とグローバル・ パートナーシップ契約を締結

プロテニスプレーヤー錦織圭選手とのグローバル・パートナーシップ契約により、当グループは、錦織選手を起用したプロモーションが可能となり、また、錦織選手は「LIXIL」ロゴが入ったウェアを着用して、日本を含む世界各国の試合に参戦します。

現在、当社は、日本国内で育んだ技術力やモノづくりの精神、そして世界的なネットワークとブランド力をもとに、住生活産業の「真のグローバルカンパニーになる」ための変革を進めています。同様に、日本から世界のトップを目指しグローバルな舞台で活躍する錦織選手をサポートすることで、日本そして世界の人々に感動をお届けできると考えています。

錦織圭選手のプロフィール

- 生年月日：1989年12月29日
- 出身地：島根県松江市

錦織選手コメント「日本で圧倒的な実績があり、かつ世界No.1の住宅設備企業をめざすLIXILさんとともに、僕も、世界No.1を目指していきます。」



http://newsrelease.lixil.co.jp/news/2015/070_company_0410_02.html



SRI評価会社RobecoSAM社による CSR格付けで「Bronze Class」と 「Industry Mover」に選定されました

LIXILグループは、スイスに拠点を置く世界的なSRI(社会的責任投資)評価会社であるRobecoSAM社^{※1}によるCSR格付けにおいて、初めて「Bronze Class」に選定されました。また当社は、「Building Products Industry(建設製品部門)」において、前年からの評価の伸びが大きかった企業として「Industry Mover^{※2}」にも選ばれました。なお今回の調査において、LIXILグループの環境分野での取り組みは、「Building Products Industry」内で最も高く評価されています。



<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?template=announcement&sid=21756&code=5938>



女性が輝く先進企業表彰において 「内閣府特命担当大臣表彰」受賞!

女性が輝く先進企業表彰は、内閣府が、役員・管理職への女性の登用に関する方針、取り組み、実績、それらの情報開示において顕著な功績があった企業を選定し表彰するもので、今回が第1回となります。当社はトップの強力なリーダーシップのもと、女性の役員や管理職の登用に急速に成果を上げていることが評価され、「内閣府特命担当大臣表彰」を受けました。LIXILグループは、「住生活産業におけるグローバルリーダーとなる」という目標達成のため、ダイバーシティを重要な経営戦略のひとつと位置付け、全社を挙げて女性の活躍を推進しています。



<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?template=announcement&sid=21559&code=5938>



ROBECOSAM
Sustainability Award
Bronze Class 2015



ROBECOSAM
Sustainability Award
Industry Mover 2015

- ※1 RobecoSAM社(Robeco Sustainable Asset Management) 1995年に設立されたスイスの投資運用アドバイスカンパニー。
- ※2 Industry Mover 各Industryにおいて上位15%以内に含まれる企業のうち、前年に比べ持続可能性評価が最も伸びた企業。今回の調査では、対象企業は59のIndustryに分類されている。



1月9日に行われた表彰式の様子(右は当社副社長 八木)

営業報告

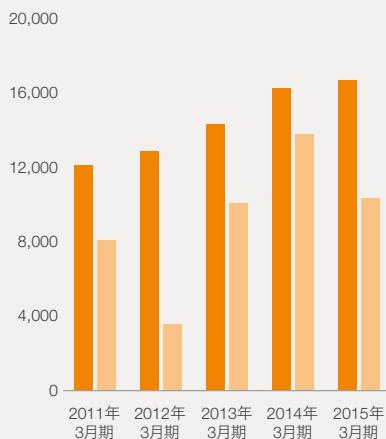
主な経営指数の推移〈連結〉

	当期 自2014年4月 1日 至2015年3月31日	前期 自2013年4月 1日 至2014年3月31日	前期比 比率(%) / 差額
売上高(百万円)	1,673,405	1,628,658	2.7
営業利益(百万円)	51,674	69,079	△25.2
経常利益(百万円)	57,862	74,937	△22.8
当期純利益(百万円)	22,012	20,951	5.1
総資産(百万円)	1,875,249	1,786,293	5.0
純資産(百万円)	613,651	601,795	2.0
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	138,931	83,532	
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△129,228	△218,332	
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	10,009	153,144	
現金及び現金同等物の当期末残高(百万円)	160,377	139,038	15.3
自己資本比率(%)	32.1	33.2	△1.1
自己資本当期純利益率[ROE](%)	3.7	3.6	0.1
1株当たり当期純利益[EPS](円)	75.46	72.06	3.40
1株当たり純資産[BPS](円)	2,104.27	2,041.34	62.93
1株当たり年間配当金(円)	60	55	5

売上高・ 営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



純資産・ ROEの推移

(単位:億円 / %)

■ 純資産(左軸)
○ ROE(右軸)

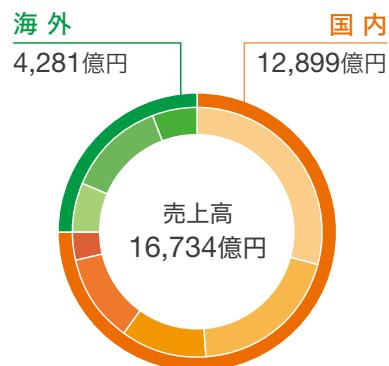


セグメント情報

セグメント別の営業状況

	当期 (億円)	前期 (億円)	前期比 (%)	
売上高	16,734	16,287	2.7	
国内事業	金属製建材事業	5,024	5,177	△3.0
	水回り設備事業	3,391	3,597	△5.7
	その他建材・設備事業	1,901	2,068	△8.1
	流通・小売り事業	1,988	1,951	1.9
	住宅・不動産他事業	596	642	△7.3
海外事業	アジア事業	1,084	946	14.5
	カーテンウォール事業	2,199	2,050	7.3
	ASB事業	999	291	243.1
(調整額)	△446	△436	—	
営業利益	517	691	△25.2	
国内事業	金属製建材事業	344	413	△16.8
	水回り設備事業	202	256	△21.3
	その他建材・設備事業	83	116	△28.5
	流通・小売り事業	71	43	67.7
	住宅・不動産他事業	42	60	△30.9
海外事業	アジア事業	38	19	98.1
	カーテンウォール事業	48	47	1.8
	ASB事業	24	15	60.5
(調整額・のれん償却・取得原価)	△335	△278	—	

売上高内訳(当期)



国内事業	75.1%
金属製建材事業	29.2%
水回り設備事業	19.7%
その他建材・設備事業	11.1%
流通・小売り事業	11.6%
住宅・不動産他事業	3.5%
海外事業	24.9%
アジア事業	6.3%
カーテンウォール事業	12.8%
ASB事業	5.8%

セグメント情報

[国内事業]

金属製建材事業



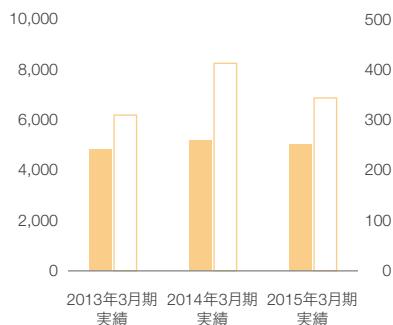
持家住宅着工が不振だったことから売上高は3%の減収、諸経費削減に努めたものの、資材価格高騰などによるコストアップもあり営業利益は17%の減益となりました。

エクステリア事業では、新しい素材・構造・技術による商品開発により、エクステリア市場全体の拡大を目指す新しい取り組み「NEXT EXTERIOR」をスタートしています。(写真、「美彩」)

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



水回り設備事業

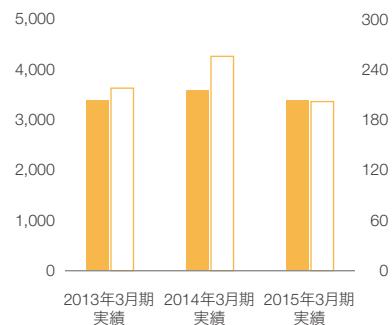


くつろぎ機能を搭載した戸建用システムバスルーム「スパージュ」の市場投入や、システムキッチン「サンヴァリエ」シリーズ(写真)などの拡販を行ったものの、昨年2月の関東地方での大雪の影響により供給制約と対応費用が発生したのに加え、ショールーム強化やキャンペーンの実施などもあり、売上高は6%の減収、営業利益は21%の減益となりました。

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



その他建材・設備事業



リビング建材「ファミリーライン」のバリエーションを追加するなど商品ラインアップの拡充を通じて拡販に努めたものの、市場の落ち込みにより売上高は8%の減収、営業利益は29%の減益となりました。

当期には空気清浄力を向上させた「エコカラット」に、デザインパッケージ(写真)を追加しました。

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



流通・小売り事業

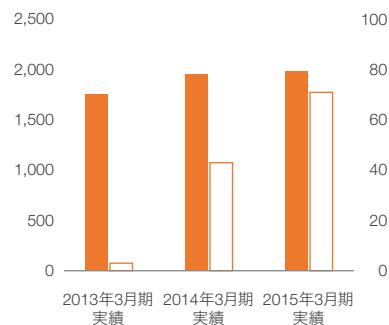


次世代型ホームセンターの旗艦店「スーパービバホームさいたま新都心店」(写真)など大型ホームセンターの拡充を継続するほか、会員制建材卸店の建デポ事業の伸長により、売上高は2%の増収(10期連続)、店舗効率の改善なども加わり営業利益は68%の増益(最高益更新)となりました。3月末の店舗数はホームセンター84店、建デポプロ64店となりました。

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



住宅・不動産他事業

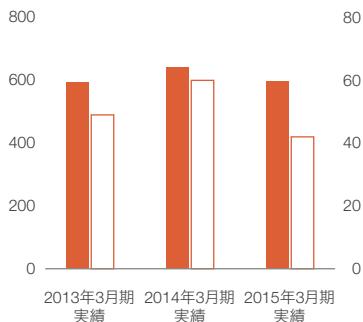


住宅FCを展開するLIXIL住宅研究所、住宅の瑕疵保険を手がける日本住宅保証検査機構(JIO)、地盤調査・工事、建物検査のジャパンホームシールド(JHS、写真)の3社は、消費税増税による需要反動減を受け、コスト削減に努めたものの減収減益となりました。不動産事業のLIXILリアルティは、不動産管理事業・リノベーション事業等の拡大で増収増益となりました。

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



[海外事業]

アジア事業



アジア各地の経済成長に伴い、住宅および建材・設備需要が増加しているため15%増収となり、経営効率改善も奏功し営業利益は前年比約2倍となりました。2014年1月に竣工したLIXILグローバル・マニュファクチャリング・ベトナムの工場(写真)では、2014年下期に押出工程が本格稼働し、日本・ASEAN諸国などへアルミ製品の安定供給を始めました。

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



カーテンウォール事業



Photographer: Wade Zimmerman, and
Architect: Christian de Portzamparc



主要会社のペルマスティリーザで、利益率の高い米国やイギリス等の物件の増加や為替換算の影響等により当事業の売上高は7%の増収となりました。受注物件の粗利率が徐々に改善してきていることもあり、営業利益は2%の増益となりました。(写真はペルマスティリーザ施工物件:ONE57(ニューヨーク))

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



ASB事業

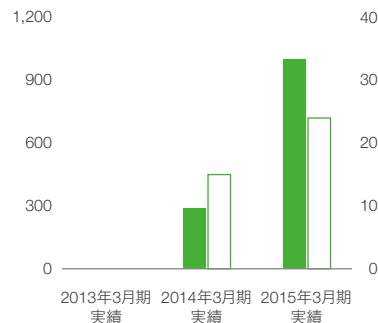


ASB事業は14年3月期に株式取得して4カ月間の新規連結となり、当期は1年間の連結となったこと等から、売上高は3.4倍、営業利益は1.6倍となりました。北米最大の水回り関連卸業者のファーガソン社と販売提携し、シャワートイレなどの付加価値商品を“DXVブランド”として販売するために全米のファーガソン社のショールームの改装を行いました。

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



アンケートにご協力ください

株主通信を手にとっていただきありがとうございます。株主の皆さまのご意見を今後の活動の参考とさせていただきます。同封のハガキに必要事項と、下記およびハガキに記載の設問に対する回答をご記入の上、2015年7月31日までにご投函ください(当日消印有効)。ご回答くださった方には、LIXILの2016年版カレンダー(卓上またはタイルカレンダー、どちらか1つ)を進呈いたします。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

アンケートご回答の方に カレンダーをプレゼント!



※ カレンダーの写真は2014年版です。実際には2016年版をお送りいたします。



カレンダーのサイズ(どちらも紙製)

左: タイルカレンダー(壁掛けタイプ)

約39.5×39.5(cm)

右: 卓上カレンダー

約15×18(cm)

[デザインは2014年版に近いものとなる予定です。]

→ 応募方法

同封の「株主さまアンケート回答用ハガキ」に回答をご記入の上、「個人情報保護シール」を所定の位置に貼付してご投函ください。プレゼントの発送は12月上旬～中旬を予定しております。

Q1 当社株式を取得されたきっかけをお聞かせください。(2つ)

1. 会社四季報・日経会社情報
2. 新聞・投資情報誌等
3. 証券会社の推奨・分析ツール
4. 個人投資家説明会
5. 当社CM・広告
6. 当社ホームページ
7. 当社ホームページを除くインターネット情報
8. 株主優待制度
9. 知人・友人・家族の紹介
10. 当社製品を利用
11. 当社のファン
12. 当社従業員(元従業員)
13. 当社お取引先(元取引先)様
14. 相続・贈与
15. その他 [内容を回答欄にご記入ください]

Q2 当社株式を購入された際、最も重視されたことは何でしょうか。(1つ)

1. 将来性・成長性(値上がり益期待)
2. 業績の安定性
3. 財務体質・健全性
4. 株主還元
5. 配当利回り
6. 株主優待制度
7. 株価の割安感
8. 経営者
9. 当社のファン
10. 経営戦略・事業内容
11. 知名度・ブランド
12. 当社関係者・取引先等
13. その他 [内容を回答欄にご記入ください]

同封の「株主さまアンケート回答用ハガキ」に必要事項をご記入の上、
7月31日までにご投函ください(当日消印有効)。

Q3 当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。(1つ)

また、買い増しのご意向がある株主さまは、数字の記入に加え、ハガキ回答欄右にある「買い増し意向」にもをご記入ください。

1. 1年未満
2. 短期(1年～3年未満)
3. 中期(3年～5年未満)
4. 長期(5年以上)
5. 売却しない
6. 売却済み(一部売却を含む)

Q4 今回の株主通信の全体の印象(サイズ、ページ数、文字の大きさなど)についてお聞かせください。

1. 良い
2. どちらかといえば良い
3. どちらかといえば悪い
4. 悪い

Q5 当社は2014年9月より、株主優待制度を変更しました。株主優待制度の評価をお聞かせください。

1. 良い
2. どちらかといえば良い
3. どちらかといえば悪い
4. 悪い

Q6 当社ホームページのご利用状況で最も近いものはどれでしょうか。(1つ)

1. 1カ月に1回以上
2. 3カ月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 1年に1回程度
5. 利用したことはない

Q7 Q6で1.～4.とご回答された方にお聞きします。閲覧した目的は何ですか。(いくつでも)

1. 当社の情報を調べるため
2. 経営方針や事業計画を知るため
3. 当社グループ各社の情報を知るため
4. IR資料(含む決算情報)を見るため
5. 個人投資家向け情報(イベント、株主優待など)を調べるため
6. その他 [内容を回答欄にご記入ください]

Q8 当社へのご意見・ご感想などがございましたらご自由にご記入ください。

※ 集計の都合上、個別のお返事はできかねますので、ご了承ください。個別のご対応が必要な事項については、P22「お問い合わせ先」までご連絡ください。

株式の状況 (2015年3月31日現在)

株式数および株主数

発行可能株式総数	1,300,000,000 株
発行済株式の総数(自己株式26,702,156株を除く)	286,352,099 株
株主の総数	45,750 名

大株主

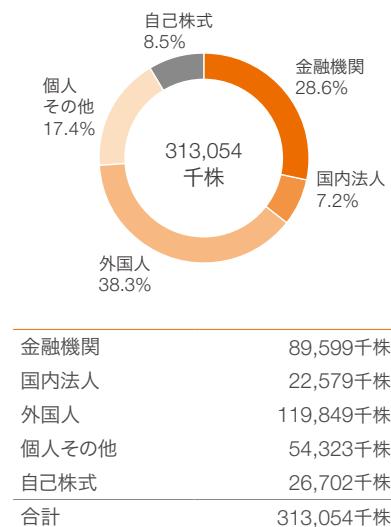
株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	10,312 [※]	3.60%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (常任代理人香港上海銀行東京支店)	9,641	3.37%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	9,249 [※]	3.23%
野村信託銀行(株)信託口	8,896 [※]	3.11%
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	6,937	2.42%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (常任代理人(株)みずほ銀行決済営業部)	6,831	2.39%
第一生命保険(株)	6,561	2.29%
LIXIL 従業員持株会	6,503	2.27%
(株)三菱東京UFJ銀行	5,798	2.02%
(株)三井住友銀行	5,543	1.94%

(注) 1. 上記の他に当社は自己株式26,702千株を所有しています。持株比率は、自己株式を控除して計算しています。
2. ※はすべて信託業務に係るものです。
3. 野村信託銀行(株)信託口8,896千株は潮田洋一郎氏が委託した信託財産であり、信託契約上、議決権の行使については同氏が指図権を留保しています。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定日	定時株主総会議決権行使株主・期末配当金受領株主 3月31日、 中間配当金受領株主 9月30日 上記のほか必要ある場合は予め公告して基準日を設定。
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL: http://www.lixil-group.co.jp/ir_koukoku.htm
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711(通話料無料)
1単元の株式の数	100株
上場取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所

所有者別分布状況



【お知らせ】

- 株主さまの住所変更、買取請求、買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行、電話0120-232-711(通話料無料))にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の株主さまと同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主さま宛にも「配当金計算書」を送付いたしております。「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受け取り(株式数比例配分方式)の株主さまは、お取引のある証券会社でご確認ください。

会社概要

会社概要 (2015年3月31日現在)

社名	株式会社 LIXILグループ
英文社名	LIXIL Group Corporation
設立年月日	1949年(昭和24年)9月19日
本店	〒136-8535 東京都江東区大島二丁目1番1号
本社事業所	〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階
資本金	68,121百万円
決算期	3月31日
従業員数	97名(連結従業員数 52,427名)
主な事業内容	国内外の住生活関連事業・都市環境関連事業を営む会社の株式または持分を取得、所有することによる当該会社の事業活動の支配、管理を行っております。

お問い合わせ先

株式についてのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行：証券代行部 0120-232-711 (左記「株主メモ」ご参照)
LIXILグループ：法務部 03-3638-9300

本誌の内容についてのお問い合わせ

LIXILグループ：IR室 03-6268-8806

株式会社LIXILの商品に関するお問い合わせ

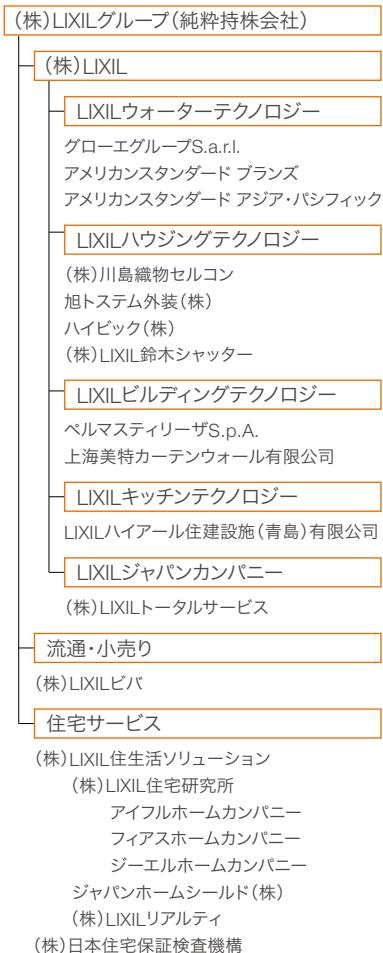
お客さま相談センターのフリーダイヤルで承ります。ブランドごとに電話番号が異なりますのでご注意ください。
受付時間 平日 9:00~18:00、土日祝日 9:00~17:00 (ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

- トステム・新日軽・TOEXブランド共通 ☎0120-126-001
- INAXブランド ☎0120-179-400
- サンウエーブブランド ☎0120-190-521

取締役 (2015年6月26日現在)

取締役	潮田 洋一郎
取締役	藤森 義明
取締役	筒井 高志
取締役	金森 良純
取締役	菊地 義信
取締役	伊奈 啓一郎
社外取締役	數土 文夫
社外取締役	佐藤 英彦
社外取締役	川口 勉
社外取締役	幸田 真音
社外取締役	バーバラ・ジャッジ

主なグループ会社・事業



免責事項

この株主通信には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績はさまざまな重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

株主優待のお知らせ

株主の皆さまのご支援、ご愛顧に感謝するとともに、より多くの株主の皆さまに事業に対するご理解を一層深めていただくことを目的として、株主優待を実施しています。

2014年9月30日現在の当社の株主名簿に記載または記録されている100株(1単元)以上を保有されている株主さまへ、昨年11月末に「株主優待制度ご利用ガイド2014」と「リフォーム株主優待申請書」をお送りしました。株主の皆さまのご利用をお待ちしています。

※株主優待の書類の再発行はいたしておりません。
ご了承ください。

株主優待制度の一部変更について

- ① リフォーム株主優待の対象LIXIL商品について、2015年4月発売の浴室2商品を追加します。
追加となる対象商品:浴室「リモア」「アライズ」
- ② 生活サービス株主優待のサービスメニューのうち、「9カ月保管付き衣類クリーニング」をリニューアルしました。

リニューアル後	くらしテル通常価格
10点セット	11,000円(税別)
20点セット*	22,000円(税別)
30点セット*	25,000円(税別)

※20点・30点セットは、お預けいただいた衣類を保管期間中2回に分けて返却できます。

株主優待としては、11月にご送付した「株主優待制度ご利用ガイド2014」掲載のメニューと、リニューアル後のメニューのどちらからもお選びいただけます。

株主優待のお申し込み期限は、
2015年10月31日(土)となっています。

リフォーム株主優待

対象LIXIL商品を使って工事が完了し、10月中に請求書が発行されたリフォーム工事が対象です。

10月31日(当日消印有効)までに「リフォーム株主優待申請書」と必要書類を投函してください。



リモア

アライズ

生活サービス株主優待

10月31日までに「くらしテルコールセンター」にお電話でお申し込みください。サービス実施は2015年12月31日(木)までとさせていただきます。

くらしテル
コールセンター

☎ 0120-881-506

📄 <http://www.881506.com>

株式会社 LIXILグループ

本店 : 東京都江東区大島二丁目1番1号
本社事業所 : 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階
ホームページ : <http://www.lixil-group.co.jp/>

表紙、P01、P07(右)、P08(右上)、P09-10、P15、P16(左)の製品及び施行例写真は(株)LIXILの著作物です。